

第4回新潟地区国立病院 薬剤部科勉強会を開催して

新潟病院 薬剤部 花垣 諒太

はじめに

平成29年10月7日（土）、第4回新潟地区国立病院薬剤部科勉強会を開催致しましたのでご報告致します。県内の施設を一回りした今回は最初に戻り、新潟病院薬剤部が幹事施設となり開催をしました。

参加者は新潟県内3施設の薬剤師、過去に在籍をした薬剤師だけでなく、関信地区国立病院薬剤師会会長でがん研究センター東病院薬剤部長山口正和先生、薬事専門職で東京医療センター薬剤部長谷地豊先生はじめとする多く県外の先生方にご参加いただき、27名で開催されました。

勉強会の様子

今回は新潟病院院長中島孝先生にご協力をいただき、新潟病院の特徴で、現在注目を浴びている「医療用ロボットスーツHAL」をテーマに講演と見学の2部構成で研修を行いました。（会次第）

当日は快晴とまではいきませんでしたでしたが、心地よい天気の中、定刻通りに開催することができました。さいがた医療センター薬剤科長狩野哲也先生の開会の辞、次いで開催施設の薬剤部長松倉範明先生からの挨拶を経て、第1部となる「ロボットスーツHALの医師主導治験から臨床応用まで」の講演が行われました。内容はロボットスーツHALの仕組みから患者への応用、医薬品医療機器総合機構（PMDA）の概要、薬剤師の関わりなど多岐にわたる知識を得ることができました。

休憩を挟んだ後の第2部では、「ロボットスーツHALの見学」が行われました。参加者はリハビリ室へ移動し実際に使用している両脚用のロボットスーツHALと片脚用のロボットスーツHALの見学を行いました。ロボットスーツHALは取り扱っている病院も少なく、過去の勉強会等で顔なじみの先生方も非常に興味を持ちながら、



和やかな雰囲気で見学を行うことができました。

薬剤師の先生方は日々、医療用医薬品を治療として取り扱っていますが、ロボットスーツHALという医薬品とは異なる医療機器による治療を身近に感じることができ、参加者一同感嘆していました。

研修課題終了後、山口正和先生より感想をいただき、その後の全体会議では、次回開催についての検討が行われ、さいがた医療センターが幹事施設となりました。日程や内容についてはアンケートの結果等を参考に今年度中を目途に実行委員が幹事施設のさいがた医療センターと委員会を開き、計画・提案すること等が決まりました。

谷地豊先生からは次回以降も参加頂けるとの言葉をいただき、再会が楽しみになりました。その後、西新潟中央病院薬剤部長樋口順一先生の閉会の辞をいただいて盛会のうちに終了となりました。

尚、勉強会終了後に行われた懇親会へは勉強会参加者25名が参加し、様々な意見や情報交換が行われ、普段とは違った姿を見て、交流を深め合った非常に盛大な会となりました。

考察

今回も県外の先生方にご参加いただき感謝に堪えません。しかし、来年度以降の実施に向けての課題も見えてきました。まず、参加する先生方にいかに興味を持ってもらえるような内容にするか。そして遠方からの交通手段や宿泊場所の確保の必要性。より多くの先生方に参加してもらうために早い時期からの関信地区へ向けての広報活動を行う等が挙げられます。

研修内容につきましては、今回は講義と見学で、実技は行えませんでした。新潟病院のロボットスーツHALを間近でみられたことは非常に良かったと考えております。アンケートの結果では最新の医療を取り上げてほしい、各施設の色を取り入れてほしいなどの意見もあり、このような貴重な意見を今後どのように取り入れていくべきか考えていきたいと思います。

医療用医薬品は日々進化していますが、医療用医薬品以外の治療法を理解することも重要であり、今回のロボットスーツHALは良いきっかけとなったのではないかと思います。勉強会后、実際にロボットスーツHALを使用している患者さんに注目してみると、「今までより歩行がスムー





ズになった」など喜びの声が聞こえ、自身の業務だけで満足していたことに対して反省するとともに、このような機会を無駄にせず、何か薬剤師として治療に参画できないか考えさせられ、広い視野を持つことの重要性を再確認しました。

今回の開催場所である新潟病院は交通の便があまり良くなく、関東方面からの交通機関としては、上越新幹線と信越線を利用して3時間程度でしたが、今後別の会場での勉強会後の懇親会も含めて考えた場合、県外の先生方の宿泊場所や帰りの交通手段を考慮した計画が必要と感じました。

また、今回準備を始めたのは7月頃でありましたが、開催地区の交通の不便さなどで、参加を希望される県外の先生方の中で都合のつかなかった方もいらっしゃるかと思います。こういった反省点を踏まえ、来年度の勉強会では早めに準備を始め、より多くの先生方が参加できるような計画を立案したいと考えております。

感想

今回で新潟地区勉強会も第4回を数えることとなり、私は実行委員でありながらも他の実行委員に頼ってばかりでしたが、初めて幹事施設として

の参加は、とても有意義で気付かされることが多く良い経験となりました。昨年度末の時点で会場・開催日・研修内容等大まかな部分は決められておりましたが、中島孝院長や他施設の実行委員との打ち合わせ、会次第の作成、当日の進行等慣れない作業が多く、会運営の経験豊富な松倉先生をはじめ、多くの先生方の協力が必要であることを改めて気づかされました。関信地区への広報に関しましては、山口先生をはじめとする過去に3施設に在籍されていた先生方にも非常に多くのご支援をいただき、勉強会の目的の一つである「協力体制の構築」を実行委員の立場からも実感することができました。

今後も新潟地区の連携を密にするのはもちろんのこと、内容をより身近で有意義なものにして、多くの県外の先生方の参加を募りたいと思います。また、他の地域の模範となるような勉強会を計画・継続したいと思います。

最後に、研修会の講師を務めていただいた中島孝院長、および実行委員の新保一先生、鈴木隆史先生、開催に際しご協力いただいた全ての先生方に、この場をお借りして深く感謝とお礼を申し上げます。